



メビオ校舎責任者
高橋 元

メビオ出身の
大阪医科薬科大学卒業生の皆様
メビオは一九八〇年の創立以来、大阪・天満橋の地で、医師を目指す若者たちを支えてまいりました。みなさまのご活躍を、私たちは誇りに思っております。お近くへお越しの際は、ぜひ当校にお立ち寄りください。

大阪医科薬科大学 仁泉会 ニュース

仁泉会ニュース 第57巻第2号
発行所 〒569-8686 高槻市大学町 2-7
電話 072-682-6166 FAX 072-682-6636
発行者 上野 豊 発行部数 6,300部
URL http://www.jinsenkai.net

令和8年度仁泉会定期総会が開催されます。
令和8年5月31日(日) 午後1時30分から



<p>既卒生コース</p> <p>週42時間、年間1,800時間の授業を提供。一人ひとりの個性に合わせて精鋭講師陣が粘り強く指導することにより、学習の量と質で他の受験生を圧倒します。</p>	<p>高3生コース</p> <p>残り少ない時間を、医学部合格のために特化された環境で。基礎固めから入試レベルまで、密度の高い学習で一気に駆け上がり、医学部現役合格を目指します。</p>
<p>中1～高2コース</p> <p>医学部進学を目指すなら、思い立った今が勉強を始める絶好のタイミング。時間をかけてじっくりと学ぶことで、真の理解と実力が身につきます。</p>	<p>中高一貫コース</p> <p>新中1から医学部現役合格を目指す中高一貫校の生徒のみなさんための講座を設置しています。</p>

学校説明会・無料体験授業、いつでも受付中です！

お申込み受付中！

弱点克服・個別プログラム

高校生・既卒生対象
誰にでも、ひとつやふたつ苦手な分野があるはず。いまのうちに短期集中型の個別授業で、その分野を克服しましょう。



私立医学部大学別模試



問題形式・配点・時間・傾向・特徴など、全てを再現！メビオ・YMS・英進館メビオが共同開催する、日本最大の私立医学 大学別公開模擬試験。大阪医科薬科大学模試など、全国約20大学の大学別模試を実施しています。

〈お問い合わせ・お申し込み〉

医学部進学予備校 **メビオ** フリーダイヤル **0120-146-156**

携帯からOK 受付時間9:00～21:00(土日祝可)

大阪府大阪市中央区石町 2-3-12
天満橋駅(京阪/大阪メトロ谷町線)より徒歩3分

お申込みはこちら



TOPICS

- 受章・受賞報告 P7
- 祝・卒業 P8
- 学会報告 P11

開催案内

- 仁泉会大阪府支部連合会春季学術講演会 P21
令和8年5月9日(土)
- 大阪医科薬科大学女性医師の会 P38
令和8年6月13日(土)

https://www.mebio.co.jp/
校舎にて個別説明会(館内・寮見学)も随時実施しております。

目次

P3 令和8年度定期評議員会及び総会開催のご案内

受章報告・受賞報告

P7	瑞宝中綬章	鈴木廣一先生	(学29期)
	紺綬褒章	大植 陸先生	(学40期)
	Young Investigator Award	宮崎裕太郎先生	

P8 祝・卒業令和7年度卒業証書・学位記授与式

学会報告

P11	第52回 日本小児臨床薬理学会学術集会	瀧谷公隆	(学38期)
-----	---------------------	------	--------

支部だより

P13	三重県支部仁泉会 令和7年度支部だより	後藤亮太郎	(学45期)
P14	第3回 仁泉会大阪府支部連合会産業医講習会の報告	福本敏子	(学24期)
P16	令和7年度 仁泉会東住吉平野支部総会及び懇親会の報告	長谷川利雄	(学32期)
P17	仁泉会東大阪支部 新年会・総会 報告	大西洋一郎	(学25期)
P18	令和8年度 仁泉会神戸支部新年会報告	藤田能久	(学47期)
P20	令和7年度 尼崎伊丹支部総会	鈴木克司	(学31期)
P22	仁泉会奈良県支部 第52回総会・懇親会ご報告	尾崎誠重	(学43期)

クラス会だより

P24	第31期 同窓会	一ノ名 正	(学31期)
P26	学43期 川端信司 教授 就任祝賀会開催のご報告	尾崎誠重	(学43期)

仁泉ひろば

P27	へボンかへっぴバーんか	佐々木進次郎	(学8期)
P28	丸山栄勲先生に人命救助の功績で感謝状贈呈! ブランクトンの話	高須 朗 岡野 准	(学35期) (学21期)
P29	掌編小説「すばらしき外勤世界」	福岡勇太郎	(学72期)

P31	まんが第78回	芸能りボン太一	(学31期)
-----	---------	---------	--------

開業情報

P33	開業しました!	鈴木智子先生 村井克行先生 中野友義先生 井手健太郎先生	(学50期) (学51期) (学54期) (学59期)
P34		在田貴裕先生	(学60期)

本部だより

P34	理事会開催報告
P35	支部長交代のお知らせ
P35	会員計報
P36	編集後記

表紙写真：伏見淀水路の河津桜
3月になると濃いピンク色の鮮やかな花を咲かせます。
メジロも沢山見かけますよ。

ひろし

令和8年度 定期評議員会及び総会開催のご案内

令和8年度仁泉会定期総会を下記のとおり開催いたします。
本年度は開始時刻が例年より早くなっておりますので、何卒ご留意賜りますようお願い申し上げます。
お手数ではございますが、出欠につきましては同封の総会葉書（兼委任状）にて必ずご返信をお願い申し上げます。
なお、懇親会は着席形式とし、会員の皆様にゆっくりご歓談いただき、親睦を深めていただける場となるよう準備を進めております。
会員各位におかれましては、ご多用中とは存じますが、お誘いあわせのうえ、多数ご出席くださいますようお願い申し上げます。

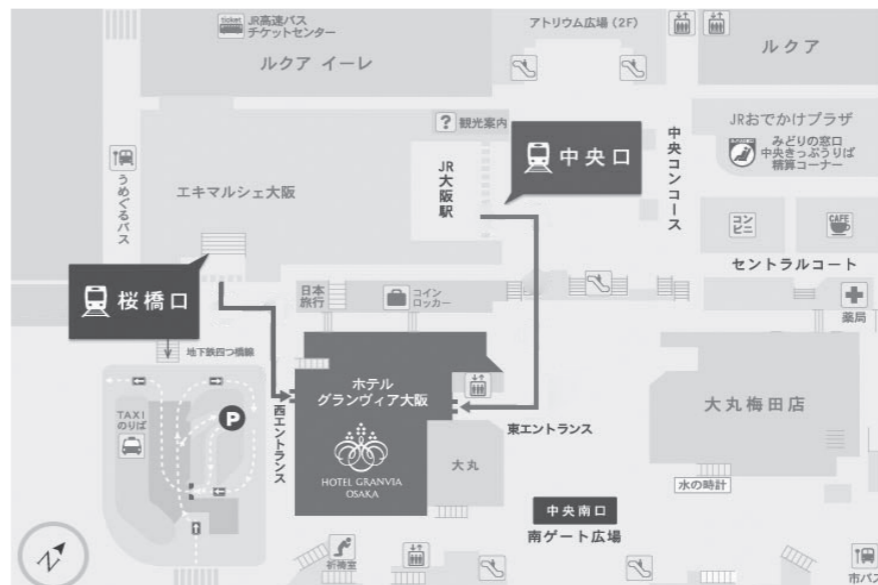
大阪医科薬科大学仁泉会
理事長 上野 豊
令和8年4月1日

日 時：令和8年5月31日(日)
午後1時より評議員会
午後1時30分より定期総会
午後3時30分より懇親会

会 場：ホテルグランヴィア大阪
評議員会・総会 20階「鳳凰Aの間」
懇親会 20階「名庭Aの間」

【お問合せ先】
大阪医科薬科大学仁泉会事務局
Tel : 072-682-6166
Fax : 072-682-6636
E-mail : info@jinsenkai.net

ホテルグランヴィア大阪ご案内地図



- JR大阪駅直結。
- お車でのご来場はご遠慮下さい。

令和8年評議員会次第

1. 議案
 1. 100周年記念事業について
 2. その他

令和8年定期総会次第

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会の辞 2. 物故会員に対する黙祷 3. 理事長挨拶 4. ご来賓挨拶 5. 仮議長指名 6. 議長選任 7. 議事録署名者選出 8. 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> ①令和7年度事業報告 ②令和8年度事業計画について ③令和8年度予算について | <ol style="list-style-type: none"> 9. 議案 <ol style="list-style-type: none"> ①令和7年度決算承認を求める件
監査報告 ②その他 10. 集合写真撮影 11. 閉会の辞 |
|---|---|

令和8年度仁泉会事業計画（案）

【公益目的事業】

1. 学術振興研究援助事業
学術振興及び研究発展の為に、医学会及び研究会に対して助成を行う。
2. 奨学金貸与事業
良医の育成を目的とした、医学部学生に対して奨学金の貸与を行う。

- ③学生の諸活動への援助を行う。
- ④母校の発展向上に寄与する為の支援・協力活動を推進する。
- ⑤母校執行部、教職員並びに学友会との連携をはかる。
- ⑥母校の医師国家試験対策事業への援助を行う。

2) 会員の福利厚生への支援

- ①会員の動向把握を行い、会員慶弔時における福利厚生につとめる。
- ②会員相互の親睦交流を深める為の活動支援を行う。

3) 仁泉会組織強化に関する事業

- ①支部組織強化の為の活動への支援。
- ②会員で構成される団体への支援。

【一般事業】

3. 仁泉会本部諸事業
 - 1) 大阪医科薬科大学への後援
 - ①母校の募金事業活動へ協力し、母校の発展向上に寄与する。
 - ②令和8年度医学部卒業生の内、優秀な者に対し、理事会の議を経て、仁泉会理事長賞を授与する。

- ③会費納入の理解協力を求め、納入率向上の為の広報活動を行う。
- ④学生会員の加入を促し、母校の発展向上に寄与する。

6) 広報事業

- ①機関紙「仁泉会ニュース」の定期発行。
- ②電子化広報の充実拡充。

7) 創立100周年記念事業について

母校及び仁泉会の創立100周年を見据え、記念事業の企画・検討を行う。

- 4) 全国私立医大同窓会との連携
全国私立医大同窓会連絡会に参加し、私立医科大学同窓会相互の連携と情報共有を深め本会の発展向上を図る。

4. その他法人の目的達成に必要な事業

以上

- 5) 大阪医科薬科大学薬学部及び看護学部同窓会との連携
大阪医科薬科大学薬学部及び看護学部同窓会との情報交換と交流を行う。

令和8年度基金会計収支予算書(案)

(自令和8年4月1日～至令和9年3月31日)

(単位 円)

	科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
収入の部	1. 基金運用収入	4,200,000	4,500,000	△ 300,000	
	①基金利子	1,000,000	1,000,000	0	基金運用利息
	②返還金	3,200,000	3,500,000	△ 300,000	奨学金返済
	2. 寄付金	10,000	10,000	0	
	3. 雑収入	10,000	10,000	0	普通預金利息
				0	
	当期収入(A)	4,220,000	4,520,000	△ 300,000	
	前期繰越額	18,000,000	21,778,911	△ 3,778,911	
	合計(B)	22,220,000	26,298,911	△ 4,078,911	
支出の部	1. 事業費	4,400,000	4,400,000	0	
	①研究助成費	100,000	100,000	0	
	②研究奨励費	100,000	100,000	0	
	③奨学費	4,200,000	4,200,000	0	7名
	2. 管理費	200,000	200,000	0	
	①雑費	20,000	20,000	0	口座引落手数料
	②租税公課	180,000	180,000	0	消費税/国税
	3. 繰出金	1,010,000	1,010,000	0	他会計振替
	4. 予備費	16,610,000	20,688,911	△ 4,078,911	
	当期支出(C)	22,220,000	26,298,911	△ 4,078,911	
	収支差額(A) - (C)	△ 18,000,000	△ 21,778,911	3,778,911	
	次期繰越(B) - (C)	—	—	—	

令和8年度一般会計収支予算書(案)

(自令和8年4月1日～至令和9年3月31日)

(単位 円)

	科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
収入の部	1.入会金	1,000,000	1,000,000	0	
	2.会費	23,000,000	23,000,000	0	
	3.学生会費	1,800,000	1,800,000	0	
	4.寄付金	10,000	10,000	0	
	5.雑収入	1,500,000	1,500,000	0	広告/預金利息他
	6.繰入金	1,010,000	1,010,000	0	
	当期収入(A)	28,320,000	28,320,000	0	
	前期繰越額	19,000,000	21,272,100	△ 2,272,100	
	合計(B)	47,320,000	49,592,100	△ 2,272,100	
支出の部	1.事業費	11,400,000	10,400,000	1,000,000	
	①会報費	7,000,000	7,000,000	0	会報誌発行/発送
	②学術費	2,000,000	1,000,000	1,000,000	10学会支援
	③学生後援費	1,000,000	1,000,000	0	西医体/学園祭支援等
	④記念事業費	200,000	200,000	0	
	⑤福利厚生費	100,000	100,000	0	
	⑥慶弔費	800,000	800,000	0	供花料/生花代
	⑦国家試験対策費	300,000	300,000	0	既卒者支援
	2.管理費	17,451,000	17,451,000	0	
	①会議費	1,300,000	1,300,000	0	総会/理事会
	②給料手当	7,000,000	7,000,000	0	事務員3名
	③旅費	1,200,000	1,200,000	0	理事会出席
	④通信費	700,000	700,000	0	
	⑤備品費	150,000	150,000	0	
	⑥消耗品費	300,000	300,000	0	事務用品他
	⑦会費徴収費	600,000	600,000	0	会費払込手数料負担
	⑧社会保険料	900,000	900,000	0	労災/社会保険料
	⑨交際費	500,000	500,000	0	支部会賛助金他
	⑩諸謝料	1,200,000	1,200,000	0	税理士・弁護士顧問料
	⑪雑費	700,000	700,000	0	コピー代他
	⑫事務局費	600,000	600,000	0	事務室賃借料
	⑬租税公課	1,300,000	1,300,000	0	消費税他
	⑭積立金	1,001,000	1,001,000	0	周年事業費積立他
	3.予備費	18,469,000	21,741,100	△ 3,272,100	
	当期支出(C)	47,320,000	49,592,100	△ 2,272,100	
	収支差額(A)-(C)	△ 19,000,000	△ 21,272,100	2,272,100	
	次期繰越(B)-(C)	-	-	-	

(注) 1. 借入金限度額 0円
2. 債務負担額 0円

受章報告

令和7年春の叙勲において、母校名誉教授の鈴木廣一先生が瑞宝中綬章を受章されました。
12月には大植 睦先生が紺綬褒章を受章されましたのでここにご報告をさせていただきます。

瑞宝中綬章

鈴木廣一先生 大阪医科薬科大学名誉教授 (学部29期)

紺綬褒章

大植 睦先生 葛城病院 理事長 (学部40期)

受章のお言葉

昨年12月18日に紺綬褒章を拝受いたしましたことをご報告申し上げます。

本章は、大学ならびに医学生に対する経済的支援を継続してまいりましたことが評価され、奈良県よりご推薦いただいたことによるものです。

これもひとえに、日頃よりご理解とご支援を賜っております皆様のお力添えの賜物と、心より感謝申し上げます。今後も医学生支援に一層尽力してまいります所存でございます。



受賞報告

この度、母校耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室の宮崎裕太郎先生が、2025年10月30日に開催されました、第35回日本耳科学会 総会・学術講演会にて「Young Investigator Award」を受賞しましたのでご報告いたします。

Young Investigator Award

宮崎裕太郎先生 大阪医科薬科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室
演題名「顔面神経減荷術における手術手技の工夫と術後聴力に対する影響」

祝・卒業

令和7年度 卒業証書・学位記授与式

令和8年3月5日（木）、高槻城公園芸術文化劇場トリシマホールにおいて、卒業式・学位記授与式が挙行され、学部75期生109名が晴れて卒業の日を迎えられました。

本年の仁泉会理事長賞は、河野美桜さんが受賞されました。

本号では、佐野浩一学長の式辞と卒業式当日の様様をご紹介します。75期の皆様のご卒業を心よりお祝い申し上げます。

令和7年度 卒業式 式辞 大阪医科薬科大学学長 佐野浩一

花細し今日

大阪医科薬科大学令和7年度卒業生 医学部109名、薬学部220名、看護学部91名の皆さん、本日ここに学位記を授与されたことを心よりお祝いたします。

この時まで卒業生を見守り育てられました保護者の皆様にもさぞお喜びのことと拝察いたします。ご同慶の至りでございます。卒業生の皆さんには卒業という人生の節目に当り保護者の皆様への感謝を新たにしてくださいようお願いいたします。また、本学の教員・職員の皆さんには恕をもって、学生の指導にあたってくださったことに感謝と慰労をいたします。

さて、医学部と薬学部の卒業生は、コロナウイルスが猖獗し、国際的な国家行事であるオリンピックが延期された2020年（令和2年）に統合前の大阪医科大学と大阪薬科大学にそれぞれ最後の入学生として大学の門を潜りました。入学式が中止された他、サイバー空間での講義や実習が多くなるなど、非常事態における学びの在り方を経験されました。皆さんの入学式を大学統合の年、2021年の秋に挙行し、大学生活で大切なことは「何を与えてもらうか」ではなく、「何を探し出すか」「何を創り出すか」であるとの式辞で皆さんを迎えたことは学長として忘れることのできない出来事でした。また、看護学部の卒業生の皆さんはコロナ禍中での高校生活を経て私たちがコロナ禍に慣れた2022年に入学され、一気



佐野浩一 学長

に進んだSociety5.0の入口で大学生活が始まりました。新型コロナウイルスの猖獗する中で私たちが改めて学んだことは事の大小を問わず、様々な課題を見出し、知恵を尽くして対応することでした。

そのような学びを得た今、Generative Artificial Intelligence（生成AI）が急速に進化し、爆発的という言葉が似つかわしいほどの普及をとげています。生成AIの取り扱いについては賛否が議論されていましたが、生成AIを用いないという選択肢はもはやなくなっています。私たちは生成AIをいかに用いるかを考えなければなりません。ただ、生成AIの進化は加速度的で自己進化可能なArtificial General Intelligence（AGI）やArtificial Superintelligence（ASI）、Humanoid（人型ロボット）を考えると今日の議論が明日には通用しない事態も起こっています。進化し続



学長賞授与

ける生成AIを目の前に今こそ原点に立ち戻り人間とは何かという哲学的な考察が必要なのだと思います。

哲学者デカルトはすべての人間には bon sens すなわち筋道を立ててものごとを考える力が平等に備わっているとしています。筋道を立ててものごとを考える能力や記憶力では、現在、生成AIが人を上回るまで進化しています。ここで大切なのは、筋道立ててものごとを考えるときには前提が必要でその前提が高潔であれば、考えた結果は善となり、その前提が邪悪であれば考えた結果は悪となるということです。生成AIは考える前提によって多様な答えを提示します。超人的な記憶情報をもつ生成AIがものごとを考えたとき、前提があいまいであれば混乱の中で無数の答えを生じるかもしれません。前提をどのように言語化するか、また、多様な答えの中からどれを選択するかは社会の中の生活者である人間が行うのだと考えます。皆さんは大学において、学問や厳しい臨地実習や長期間の臨床実習を通して患者さんご自身の環境や信条を踏まえて最終的に選択する療養法は必ずしも学問的な最適解でないこと、保険診療で許される治療法が必ずしも医学的な最適解ではないことなどを学び、考える前提の重要性に気付いていることと思います。皆さんが生成AIに与える高潔な前提を立てるには皆さんの豊かな教養と恕すなわち人を思い遣る心のこもった課題の言語化が必要です。私たちは生成AIがもつ記憶力と筋道を立てて考える能力により前提を与えることができるように教養と恕を磨くことが求められています。皆さんには卒業の後も先進の知識や技術とともに教養と恕を磨き続けるようお願いいたします。



医学部長賞授与



仁泉会理事長賞授与

また、生成AIは考える能力そのものであり、私たち人間に備わる bon sens すなわち筋道を立ててものごとを考える能力だけに限れば、人間と生成AIの区別ができなくなるように見えます。しかしながら、流体力学者で宗教哲学者・機械式計算機の発明者でもあるパスカルは「Grandeur et Misère」人間は偉大で弱い存在だとしています。これはパスカルのメモ集である「パンセ」に記された「人間は考える葦である」という言葉に込められた意味です。人間は筋道を立ててものごとを考えることができる偉大な存在であるが、限られた生命をもつ一本の葦のように弱い存在だということです。私は生成AIと人間の差は忘却という機能を備えた限りある生命の営みにあると考えます。生成AIが無制限に記憶を貯えていくと矛盾する知識の蓄積にやがて混乱を来す可能性が

高くなります。しかし、人間には忘却や世代の交代によってその矛盾する知識の蓄積を解消する機能が備わっています。この機能によってそのような混乱を避けることができる点で人間は生成AIとは異なります。これから生成AIの在り方を考える上でパスカルの「人間は考える葦である」という言葉は大きなヒントになるような気がします。ことほどさように人間の生命と脳の機能とは限りあるが故に貴重なものです。皆さんには人の生命と個々の精神活動を尊重して生活の中でまた人を対象とする医療の中で生成AIをどのように用いるか生成AIにどのような前提を与えるかを考えることが大切なことだと思いますし、特に医療の分野では皆さんに人間とは何かを考え続けながら生成AIを用いるようお願いします。

結びに、皆さんは「国際的視野に立った良質の教育、研究および医療の実践を通して至誠仁術を体現する医療人を育成する」という建学の精神の下、「至誠仁術」を学是とする大阪医科薬科大学で学び考える力と教養を身につけて卒業されます。本日、卒業の後は進化する生成AIやICTを使いこなしながら至誠仁術を体現すべく、最先端の仁術に加え、恕と教養を磨き、考えることを忘れず人類の福祉と文化の発展に貢献するようお願いして式辞といたします。

令和八年参月五日



学位記授与



矢野貴人 医学部長



上野豊 仁泉会理事長



学会報告 ● ● ●

第52回 日本小児臨床薬理学会 学術集会

文責 / 医学教育センター 専門教授 / 小児科学教室 瀧谷公隆 (学 38 期)

2025年(令和7年)11月15日(土)16日(日)に大阪中央公会堂にて、第52回日本小児臨床薬理学会学術集会を開催いたしました。本学会が本学会を開催するのは、第22回(1995年・美濃真大会長)および第36回(2003年・玉井浩大会長)を経て、3回目であります。



瀧谷公隆

本学会は小児科診療に携わる医師、薬剤師、製薬企業の研究者などの多職種により構成され、薬物治療

学、臨床薬理学、臨床薬学、薬剤疫学、レギュラトリーサイエンス等の観点から、小児科領域の医薬品に関する医学・薬学的な検討、医薬品評価・開発推進・適応外使用問題・未承認薬問題解決および医学・薬学教育などに取り組んでおります。子どもへの薬物療法では、子どもとご家族本位の治療であるべきであり、我々は切磋琢磨して臨床および研究を継続する必要があります。そこで、今回のテーマは、「小児臨床薬理学、その将来を見据えて—こどもに寄り添う薬物療法とは?—」としました。

プログラムの構成として、大会長講演1題、特別講演1題、教育講演9題、セミナー2題、プレナリーセッション6題、一般口演13題、ポスター17題、シンポジウム5題としました。今回の参加登録人数は1050人でした。

最初の大会長講演では、瀧谷が「小児臨床薬理から多職種連携教育へ」を講演しました。

特別講演では、塩野義製薬株式会社の手代木 功代表取締役会長兼社長CEOに「SHIONOGIの小児領域における取り組み」を講演していただきました。小児薬物療法を考える上では、製薬の立場の意見が非常に重要であります。企業からの小児用製剤に対する努力を拝聴することができました。教育講演では、1) 大石公彦教授(東京慈恵会医科大学小児科):「国境を越えた治療薬の違い—先天代謝異常症の診療経験から考える」、2) 岸 勘太先生(大阪医科薬科大学小児科):「小児の肺循環障害に対する薬物療法」、3) 川村尚久先生(大阪ろうさい病院 感染症科・小児科):「パンデミックと抗ウイルス薬」、4) 河田 興教授(摂南大学薬学部):「初めての論文作成ガイド」、5) 梶恵美里先生(大阪医科薬科大学小児科):「高槻市での中学生 H. pylori 菌検診の実際」、6) 新田雅彦特務教授(大阪医科薬科大学病院 医療安全推進室):「子どもの安全を守るチーム医療における医薬品安全管理の課題」、7) 日馬由貴先生(大阪大学医学部附属病院 感染制御部 / 感染症内科):「小児における薬剤耐性問題と抗菌薬適正使用」、8) 渡邊智美様(NPO 法人トーチの会 先天性トキソプラズマ&サイトメガロウイルス感染症患者会):「当事者から見た母子感染症と医療者へ向けたメッセージ」、9) 忽那賢志教授(大阪大学大学院医学系研究科 感染制御学):「SNSを通じた感染症の情報発信」をご講演いただきました。いずれも日常業務には重要な情報であり、参加者の明日からの診療に役立つかと思えます。

シンポジウムでは、5テーマを企画しました。本学会のテーマは、臨床に重きを置いていることが特徴です。1)「母乳と薬のジレンマを超えて：最新の知見と実践のヒント」、2)「多職種連携から俯瞰した薬学教育」、3)「若手医療者のための将来を見据える臨床薬理」、4)「ワクチンを正しく理解する」、5)「在宅医療と臨床薬理」です。いずれも質疑応答の時間を超えるぐらいの発熱したシンポジウムでした。

セミナーでは、保科隆之先生（福岡市立こども病院総合診療科）：「小児のインフルエンザ診療に関する最新の知見」および野 貴司教授（川崎医科大学小児科）：「インフルエンザワクチン～各種モダリティと期待される効果、注意すべき副反応」の2演題を企画しました。11月はインフルエンザシーズンに入る時期であり、非常にタイムリーな演題でありました。

本学会では、4団体の患者会の展示を設定しました。「NPO法人トーチの会：先天性トキソプラズマ&サイトメガロウイルス感染症患者会」、「風疹をなくそうの会『hand in hand』」、「VPDを知って、子どもを守ろうKNOW★VPD!」および「日本アラジール症候群の会」です。各ブースでは、参加者は非常に熱心に患者会のお話を聞いていました。

大阪中央公会堂は、薬問屋である道修町の近くに立地しています。そこで、エクスカージョンとして「薬のまち道修町ツアー」を企画しました。コースとしては、～適塾～緒方ビル・除痘館跡～大阪薬科大学発祥の地・塩野義製薬本社展示コーナー～田辺三菱製薬史料館～住友ファーマ展示Gallery～杏雨書屋～少彦名神社（神農さん）・くすりの道修町資料館～旧小西家住宅史料館となります。両日ともに秋晴れで、ツアー参加者は非常に楽しまれたと思います。本学は2021年に大阪医科大学と大阪薬科大学が合併しました。このツアーで大阪薬科大学発祥の地をご紹介できたのも何かの縁かと思えます。さらに両日の最後には、ヴィオラとピアノの演奏で、参加者の皆様をお送りしました。素晴らしい舞台のある会場で、楽曲を聞かれることで、皆様にも楽しんでいただけたかと思えます。

最後に本学会の運営にご協力いただいた大阪医科薬科大学小児科学教室医局員および関連病院の諸先生に感謝いたします。また、多大なご助力をいただきました大阪医科薬科大学医学部仁泉会の皆様はこの場を借りまして、深く御礼申し上げます。



支部だより ●●

三重県支部仁泉会 令和7年度支部だより

文責／三重県支部長 後藤亮太郎（学45期）

大変報告が遅くなってしまいましたが、令和7年11月16日（日）に四日市都ホテルにて三重県支部総会と仁泉会理事長 上野 豊先生（学27期）と大阪医科薬科大学一般・消化器外科教授 李 相雄先生（学44期）をお招きしての講演会が開催されました。

総会では、庶務報告・会計報告のあと永年に至り三重県支部長をつとめられ会の運営発展に尽力された子日光雄前支部長に感謝状がおくられました。

講演会は、上野 豊先生からの来賓ご挨拶ならびに本学近況をお話いただき、李先生には「外科治療の進歩と課題～胃外科を通して～」のご演題でご講演をいただきました。

三重県からも地域枠として選抜審査が行われ一年次に早期医学体験実習の受け入れ体制のご依頼がありました。数十年ぶりに本学学生のカリキュラムを拝見し、



今の学生さんは習得すべきことが山積し、入学後もゆっくりしてられないなあと感じました。李先生のロボットでの緻密で高速の手術動画を見せていただきました。救急対応を科でおこなったり手術痕の綺麗さを他科で研鑽をつまれたり学生時代からの李先生の気さくな人柄から多方面にわたり従事されており身一つでは足りないのではないかと感じました。

講演会質疑応答のあと四川料理での懇親会が世代や診療科が違う中、多彩な話題で盛り上がり、集合写真を撮影し解散となりました。



参加者（敬称略）左上より、子日光雄（学25期）、中島将博（学14期）、矢津和宏（学9期）、大井正貴（学43期）上野 豊 仁泉会理事長、李 相雄教授、後藤亮太郎（学45期）

支部だより

第3回 仁泉会大阪府支部連合会 産業医講習会の報告

文責／福本敏子（学24期）

令和8年2月14日（土）に当会主催の第3回産業医講習会を大阪府医師協同組合8Fホールにて開催いたしましたので、報告いたします。

今回も多くの先生方に受講いただき無事に終了することができました。146名の方々が受講してくださいました。その内、仁泉会会員は44名、非会員は102名でした。

講演の第1席は同窓で医療法人悠仁会 理事長、稲田クリニック院長の稲田泰之先生から「職場のメンタルヘルス～休職者へのサポート」について詳細にご講演いただきました。最近の労働裁判の事例をもとに休職者の復職支援には専門家に相談しながらルールに基づいて、ツールを使って支援を行う事が大切であると述べられました。また、産業医として主治医意見書を書く際の注意点も詳細にご教示くださいました。明日からの産業医活動に大いに参考にさせていただける充実したご講演

演でした。

第2席は近畿大学法学部教授の三柴丈典先生が「メンタルヘルスと「生きた法」～基本的な対応モデルと3つの注目すべき判例」と題してご講演くださいました。

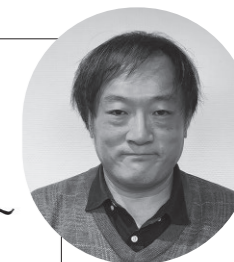
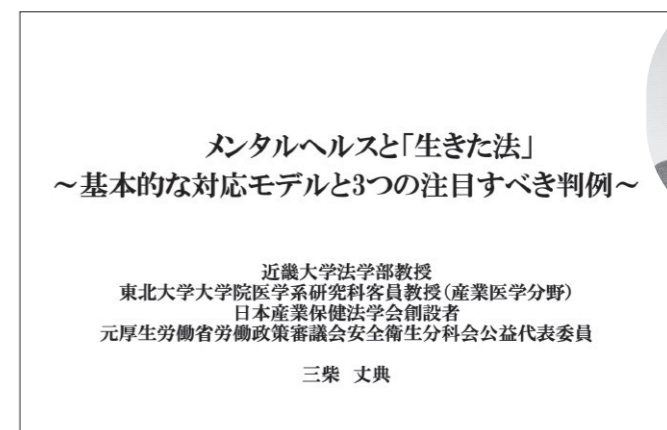
三柴先生は日本医師会の産業医委員会の委員も務められ、また2020年には日本産業保健法学会も立ち上げられ、日本の産業保健を牽引してこられた先生です。普段あまり拝聴できない法学という分野の専門家のご講演に講演の途中で会場から質問が出たりし、会場で、三柴先生の講演に引き込まれました。時にはユーモアを交え、裁判例も示されながら重い内容を明るくわかりやすくお話くださいました。そして大切な3点として「専門家の意見を聞くこと」「記録すること」「時間をおくこと」を強調されました。

以前の講習会にも参加してくださった先生方も多く、当会の産業医講習会が周知されつつあることを実感しました。

次回は本年8月1日（土）に今回と同じ会場で開催を予定しています。近づきましたら仁泉会ニュースなどを通じ、ご案内しますので、ご希望の先生方はお早目の予約登録をお願いいたします。今後とも、仁泉会大阪府支部連合会の会務にご協力ご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



稲田泰之先生



三柴丈典先生

第4回 仁泉会大阪府支部連合会 産業医講習会 開催のご案内

- ・開催日時：令和8年8月1日（土） 午後3時から午後5時まで
- ・会場：大阪府医師協同組合 8階 大ホール
〒542-8580 大阪市中央区上本町西3丁目1番5号
- ・受講料：仁泉会会員 3,000円
- ・参加資格：日本医師会認定産業医
- ・受講予定数：160名
- ・内容：〈プログラム①(演題・講師) 午後3時～午後4時〉
演題：「職域に必要な感染症の知識」
講師：大阪医科薬科大学 感染制御・微生物学 教授 中野隆史先生
〈プログラム②(演題・講師) 午後4時～午後5時〉
演題：「職場における騒音性難聴対策 ～不可逆の難聴にならないために～」
講師：大阪医科薬科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 教授 萩森伸一先生
- ・単位数：2単位 生涯研修（専門）2単位
- ・申込み等：詳細につきましては、5月上旬ごろに仁泉会ホームページにてお知らせいたします。
事前のご案内希望の先生は仁泉会事務局まで mail にて事前案内希望とお送り下さい。

問合せ先：仁泉会事務局 (tel：072-682-6166 e-mail：info@jinsenkai.net)

支部だより ●●

令和7年度 仁泉会東住吉平野支部 総会及び懇親会の報告

文責／支部長 長谷川利雄（学32期）

去る令和8年2月7日（土）、シェラトン都ホテル大阪（うねまち）にて、令和7年度仁泉会東住吉平野支部総会ならびに懇親会が開催されました。暦の上では春とはいえ、まだ厳しい寒さが残る中でしたが、会場は同窓の再会を喜ぶ温かな空気に満ちていました。本部からは御前治副理事長を来賓としてお迎えし、ご多忙の中ご臨席を賜りました。

当支部の会員は現在17名と決して大きな組織ではありませんが、この日は、以下敬称略にて、田口忠宏（28期）、西村淳幸（29期）、寺山幸嗣（34期）、成田敬介（44期）、岡村展明（45期）、そして筆者長谷川利雄（32期）の計7名が参加しました。人数は少なめながら、その分一人ひとりの距離が近く、互いの顔がよく見える充実した集まりとなりました。

総会ではまず、新入会員の紹介と入会状況の報告が行われ、続いて会計報告およびその承認、さらに次年度以降の支部運営方針について協議しました。限られた人数だからこそ、持続可能な活動のあり方について

率直な意見交換ができ、支部としての方向性を改めて共有する機会となりました。

その後、御前副理事長より仁泉会の現状と本学の著しい発展についてお話いただきました。デジタル技術を活用した最新の教育環境や研究分野での成果など、母校の大きな進歩に触れ、参加者一同、学生時代との変化に驚きを覚えるとともに、母校の発展が地域医療に携わる私たちの励みにもなることを実感しました。

記念撮影の後に行われた懇親会では、和やかな雰囲気の中で食事を楽しみつつ、話題は自然と地域医療の現状へと移りました。診療報酬の実質マイナス改定、医療DXへの投資負担、「かかりつけ医機能」の制度化、医薬品供給の不安定さなど、開業医として直面する課題について、予定時間を超えるほど活発な意見交換が続きました。卒業期も専門分野も異なるものの、同じ地域で働き、同じ学び舎を巣立った仲間だからこそ、共通の視点で率直に語り合える貴重な場となりました。

今後も、この小規模ながら強い結束を持つネットワークを大切にし、地域医療への貢献を続けてまいりたいと考えております。今回参加できなかった会員の皆様とも、次回の集まりでお会いできることを心より楽しみにしております。（写真：前列左より、西村、御前、田口、後列左より、岡村、成田、長谷川、寺山）。入会希望の方は下記までご連絡いただけましたら幸いです。

長谷川利雄 FAX 06-6628-1511
thsgw8040@icloud.com



支部だより ●●

仁泉会東大阪支部 新年会・総会 報告

文責／支部長 大西洋一郎（学25期）

目を世界に向ければ、遠くチェチェン共和国では15歳のアダムが後継者として無謀な振る舞いを見せ、先日は重大な事故で生死の境を彷徨うなど、混迷の度を深めているとの報道を耳にします。翻って我が国には、常に民の安寧を祈り、国を平和に『シラス（知らず）』天皇陛下がおわします。その有難さをしみじみと噛みしめる年の始まりとなりました。

この度、当支部の会員であり、大阪府医師会理事を務められる笠原幹司先生が藍綬褒章の栄に浴されました。また同時に、元仁泉会理事長で大阪医科薬科大学名誉教授の河野公一先生におかれましても瑞宝小綬章を受章されました。お二方の受章は支部にとりましても大変名誉で喜ばしいことであり、心よりお祝いを申し上げます。

さて、去る1月21日、恒例となっております仁泉会東大阪支部の新年会および総会がリッツカールトン大阪で開催されました。今回は、仁泉会の新理事長に就任された上野豊先生をお迎えしての会となりました。席上で

は、仁泉会の財務状況や母校を取り巻く環境、さらには身近な先生方の近況に至るまで話題は尽きず、いつもながらの大変和やかで楽しい歓談の場となりました。

また来年も、同じ場所、同じ時期に皆様と元気にお会いできることを楽しみにしております。この一年が世界にとって、とりわけ我が日本国にとって、つつがなく平穏な年となりますよう祈念いたします。

【参加者】（順不同）

上野 豊 先生、佐藤 公彦 先生、塩路 清一 先生、三宅 裕治・直子 先生御夫妻、笠原 幹司 先生、大西洋 一郎 先生



支部だより ●●

令和8年度 仁泉会神戸支部 新年会報告

文責／藤田能久（学47期）

令和8年1月24日（土）、仁泉会神戸支部 新年会が開催されましたので、ご報告いたします。

フレンチレストラン イグレックベガの会場には総勢37名の出席者を得ました。

会長 米田 豊先生（学30期）による新年の挨拶の後、本学よりご来臨の理事長 佐野浩一先生（学29期）からは、本学の近況や将来を見据えたチャレンジなどを交えたご挨拶を賜りました。続いて仁泉会本部よりご来臨の理事長 上野 豊先生（学27期）のご挨拶では、仁泉会による本学学生への支援、各支部の活性化に向けた活動、創立100周年事業の一環として本学との連携事業などをご披露いただきました。

また、仁泉会本部から神戸支部へ賛助を賜りましたことも、感謝と共に附記いたします。

福永 晶先生（学14期）ご発声の下、スパークリングワインで華やかに乾杯、グラスを手にフランス料理を楽しみながら、各テーブルでは歓談の華が咲きました。

宴も中盤に差し掛かり、恒例のスピーチ大会となりました。初めに神戸市医師会会長 堀本仁士先生（学35期）、続いて兵庫県医師会副会長 橋本 寛先生（学27期）の医師会でご活躍のお二人の先生方より年頭のご挨拶がありました。いずれも医師会の現状、診療報酬



佐野浩一
理事長・学長

改定、医療DXへの流れなど、会員の先生方には非常に興味深い内容が満載されたものでした。

淡路島より初参加頂きました齊藤雅文先生（学28期）、まだまだ引退には程遠いと横山光昭先生（学19期）、また、近畿大学医学部付属病院移転の苦労話も交えて松本逸平先生（学42期）、第35回日本小児リウマチ学会総会 会長を務められる岡本奈美先生（学47期）など、神戸支部ならではの、正に幅広い分野でご活躍の先生方よりご挨拶を頂きました。

尚コロナ禍以後、神戸支部では若手参入に力を入れています。今回は、太田恵里先生（学50期）、川西恵美子先生（学54期）、小西博巳先生（学59期）、高矢雅大先生（学61期）など初参加の先生方を多数迎えることができ、各々自己紹介の挨拶を頂きました。今回、若手・初参加テーブルを設けたことが功を奏したのか想像以上の盛り上がりを見せ、今後も継続して出席して頂けるものと期待しております。

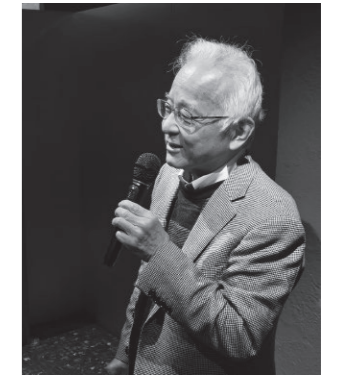
最後に副会長 井尻慎一郎先生（学31期）による閉会挨拶の後、記念撮影を終え、新年会は幕を閉じました。

追記

令和8年度 神戸支部総会のご案内
令和8年7月11日（土）16時30分よりホテル北野プラザ 六甲荘にて開催予定です。新規参加を迷っておられる先生方など、皆さまお誘い合わせの上、多数のご参加を心よりお待ちしております。なお、新たに案内ハガキをご希望の方は本部事務局（TEL：072-682-6166）までご一報願います。



米田 豊会長(左)と上野 豊 仁泉会理事長(右)



支部だより

令和7年度 尼崎伊丹支部総会

文責／支部幹事 鈴木克司（学31期）

コロナ禍もあり令和2年10月21日以来5年間開催できなかった尼崎伊丹支部総会が令和8年1月24日（土）午後6時より尼崎市の都ホテル尼崎（尼崎市昭和通2-7-1）21階の「つのくに」にて開催され、会員8名が参加しました。

開会にあたり大森英夫支部長より挨拶があり、5年ぶりに開催できたことを慶ぶとともにその間、物故会員もあり支部会員数が先細ってゆく中で、どこの支部でも会費を納入して会に参加してくれる卒業生を確保することに困難を感じている現状が紹介されました。そして医業経営や地元医師会・分科医会活動など地域医療における有用な情報を得る機会を提供することが同窓会の役割と考えている、とのお話がありました。

支部長挨拶に引き続き、鈴木により会計報告があり（別記）、支部年会費6000円を納入していただいている会

員が17名まで減少していること、令和3年まで支部会費とともに徴収していた本部会費10000円は、会費免除年齢になったかどうかの把握が困難なため、個々に納入していただくこととしたことを報告し、令和2年10月21日から総会当日までの支部会計の動きにつき説明を行い総会当日現在の残高が承認されました。

会計報告に続いて「大阪医科薬科大学の現在の施設と大学の経営状況」と題した冊子（鈴木作成）を用いて、鈴木より情報提供を行い、令和7年11月9日に高槻市で開催された学31期同窓会時の母校見学会で写した写真を用いての施設紹介と仁泉会ニュース第56巻第5号から抜粋した大学の事業活動収支の推移等の説明があり、参加者一同は現在の母校は地域医療の拠点・医師をはじめとした医療人材の養成機関として高い社会的評価を得ていることを認識できたものと思われま

す。以上で総会を終え、引き続いての懇親会では比較的学年が近い者同士が集まったせいもあり、習った教授や指導医や各自の同級生などなつかしい情報や学生時代によく利用した飲食店・喫茶店（多津屋など）の存続に関する情報も含めて和やかに懇談できたものと思います。今後も新興感染症や大規模災害に襲われる日がやってくるかも知れませんが、できるだけ定期的に集まり有用な情報交換ができればと思った次第です。



前列左より 鈴木克司・古賀亮一・辰巳和人（以上学31期）、大森英夫（学25期）、徳田正邦・山崎剛（以上学30期）
後列左より 松浦浩太郎（学35期）、島田哲志（学36期）

尼崎伊丹支部会計報告（令和2年10月～令和8年1月）

① 令和2年10月21日残高	4,320,295 円	本部会費（令和3年分）	150,000 円
② 令和2年11月～令和8年1月收入 （令和8年1月24日現在）		上記振込手数料（令和3年分本部会費振込）	660 円
徴収会費（令和3年～7年分）	741,000 円	本部会費免除者へ返金	30,000 円
利息	6,768 円	返金書留料	1,080 円
本部会費返金（会費免除者分）	30,000 円	叙勲受章お祝い金（非郵送）	30,000 円
本部会費徴収手数料	4,500 円	供花代	16,500 円
収入合計	782,268 円	振込手数料	490 円
		支部会費返金（物故者、非郵送）	12,000 円
③ 令和2年11月～令和8年1月支出 （令和8年1月24日現在）		総会資料作製費	6,731 円
連絡費	16,500 円	支出合計	263,961 円
		④ 令和8年1月24日現在残高 （①+②-③）	4,838,602 円



仁泉会大阪府支部連合会 春季学術講演会開催のご案内

仁泉会大阪府支部連合会では、下記の春季学術講演会を開催いたします。
会員の皆様におかれましては、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

日 時：令和8年5月9日（土）午後4時30分より

場 所：ホテルグランヴィア大阪 20階 「鳳凰Bの間」

特別講演：「形成外科医が診る“かたち”と“うごき”：臓器横断的アプローチ」
大阪医科薬科大学 形成外科学教室 教授 塗 隆志先生

なお、本講演は大阪府医師会生涯教育講座1単位申請中です。
講演会終了後、午後5時30分より懇親会を予定しております。
参加ご希望の先生は、お手数ですが仁泉会事務局までお知らせ
いただくか、申込フォームにてお申込み下さい。



申込フォーム

支部だより

仁泉会奈良県支部 第52回総会・懇親会ご報告

文責／庶務 尾崎誠重（学43期）

ミラノ・コルティナ冬季五輪で日本勢のメダルラッシュが続く2月中旬、列島日本海側では記録的豪雪、また太平洋側では記録的少雨さなかのバレンタインデーに、近鉄奈良駅前の春日ホテルにて奈良県支部総会・懇親会を開催いたしました。

総会に先立って行われた役員会では、会則改定の最終案を確認し（会費削減に伴う慶弔規定の大幅縮小や、不通の方を自然退会とし会員名簿の整理をするなど）、総会に上程・承認を得ました。役員相互の連絡を迅速・簡便にできるよう、役員会（14名）のLINEグループを作成できたことが画期的でした（学15期 北浦先生も初めてLINEアプリをインストールされました！）。

当日は北は奈良市、南は吉野郡から25名の諸先生方のご参加があり、同窓の絆をさらに深める良い機会となりましたが、当県支部も高齢の先生方が多くなり、長老の先生方のご参加が叶わなかったことが残念でありました（しかし、学15期 北浦先生から学57期 守屋先生までの43期にわたるご出席がありました）。また数年前までお元気に参加いただいていた学1期 小延先生が1週間ほど前にご逝去されたとの報告があり、在りし日のお姿をしのび、参会者一同で黙祷を捧げました。

総会後には母校 眼科学教室教授の喜田照代教授（学45期）に『Neurovascular Unit障害から考える眼底疾患と全身疾患』と題して1時間にわたるご講演をいただきました。先生はもともと心電図や心カテに大変ご興味があり、循環器内科を目指されていたようで、研修医時代には眼科は『休息の診療科』とおられたとのことでしたが（内緒でしたか？）、視機能の魅力に取りつかれ、教室を主宰されるまでになりました。講演では、加齢による視機能の低下（アイフレイル／緑内障・糖尿病網膜症・加齢黄斑変性）のお話、視機能の低下から白血病や内頸動脈狭窄症が診断されたお話、硝子体出血が血圧コントロールのみで改善する例など、端麗な女性教授のお話は大変勉強になりました。来年度は母校 形成外科学の新進気鋭・イケメン教授 塗隆志先生にご講演いただくことになっております。

バンケットルームに場所を移しての懇親会は、クジ引きでの座席指定としました。出席者最年長であった北浦泰 母校名誉教授の乾杯の音頭から始まり、それぞれのテーブルでの昔話に花が咲いたあと、恒例の近況報告となりました。突然の辛辣な政権批判が出たかと思うと、終活のススメ、隣席者が奇遇にも高校の同窓生であった話、手術の報告2件（いずれも執刀は同窓）、家庭のつらい内情など、悲喜交々の報告がありました。最後は皆ほろ酔いの中、山下正人 奈良県支部長の eins zwei drei で全員で母校校歌を合唱して会を締めくくりました。

本会は、勤務地もしくは居住地が奈良県の同窓をもって組織しておりますが、まだまだお声がけできていない同窓の先生も多くいらっしゃいます。該当される先生方にはぜひとも仁泉会本部を通してご連絡いただければ幸いです。

次回の総会・懇親会は令和9年2月13日（土）に今回と同じく春日ホテルでの開催を予定しております。一人でも多くの先生方のご参加をお待ちしております。

出席者（敬称略）

石崎雅子（学14期）、北浦 泰（学15期）、山田眞一（学22期）、奥田隆章（学24期）、久保光彦（学24期）、坂口嘉一（学29期）、山田全啓（学30期）、山下正人（学31期）、森岡淳夫（学32期）、辻口比登美（学33期）、松村典彦（学34期）、大川 淳（学34期）、出口 潤（学37期）、松尾隆広（学39期）、鎌田勝三郎（学41期）、橋本恵介（学42期）、森本 守（学42期）、尾崎誠重（学43期）、宮崎眞和（学43期）、宮崎貞恵（学43期）、石崎英介（学45期）、河原邦彦（学45期）、喜田照代（学45期）、古家美幸（学45期）、阿部洋介（学48期）、守屋豪志（学57期）



第52回 仁泉会 奈良県支部総会 2026年2月14日 於 春日ホテル

写真（敬称略）

後列左から
守屋 尾崎 奥田 河原 出口 阿部 橋本 森本 宮崎
中列左から
森岡 大川 鎌田 松尾 松村 辻口 宮崎 古家 石崎
前列左から
山田 石崎 山下 喜田 北浦 久保 山田

支部会・クラス会開催にあたって

支部会・クラス会開催にあたり、ご案内発送や出欠の集計等を仁泉会事務局にてお手伝いさせていただきます。お気軽にご相談ください。

仁泉会事務局 TEL / 072-682-6166 FAX / 072-682-6636
e-mail / jimuj@jinsenka.net

クラス会だより

第31期 同窓会

文責／一ノ名正 (学31期)

令和7年11月9日(日)に学部31期生の同窓会を開催しました。朝から強い雨が降り出し懇親会が終わる頃に上がるという1日でした。遠路はるばる前日から来てくださった方、朝早くから出かけて来てくださった方もおり、参加者は合計45名の参加となりました。

懇親会に先立ち、新病棟見学会を行い約半数の方が参加しました。大阪医科薬科大学法人顧問の濱田さんにご案内いただきました。新しい施設はもちろん素晴らしく、また私達が3回生・4回生のときに学んだ基礎館2階の教室は当時のままで、椅子に座ると懐かしい気持ちが込み上げてきました。

懇親会はJR高槻駅北側のホテルアベストグランデ高槻で行いました。総代の山下君の乾杯の発声で開始となりました。卒業以来初めて会う方も多く、最初は名前を思い出せなかった人もいましたが、10分ほど話すうちに学生時代の記憶が走馬灯のようによみがえってきました。

会食をはさみながら、参加者全員に思い出話から近況報告までさまざまな話題を報告してもらいました。

写真の撮影は、カメラが趣味の保田君にお願いしました。撮影した多くの写真をプリントして後日郵送してくれました。データではなく綺麗なプリントにすることで大変喜んで頂きました。これが思い出の1ページの一つとなり次の同窓会につながっていくことを願っています。

また皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

参加者(敬称略)

堀口(相生)茂子
柳川(安住)百世
石橋伊三郎
津田(石丸)明美
井尻慎一郎
磯谷治彦
一ノ名正
伊藤克彦
猪木千春
岩瀬知行
大原裕彦
岡東周一郎
岡本吉明
荻原亨
奥田晃朗

奥村隆司
長田啓嗣
片岡正人
河合正行
岸和彦
古賀亮一
鈴木克司
瀬木治郎
高崎智彦
高田秀一
竹井通博
辰巳和人
伊達学
辻卓司
手塚清隆

寺崎文生
土肥多恵子
中井康人
中嶋邦登
永野雄三
星山俊潤
細川真哉
保田浩
山陰圭一
山口仁
山下正人
山田祥晴
李鐘甲
渡辺英臣
渡邊哲彦



集合写真



講義棟での写真



集合写真に間に合わなかった渡邊哲彦君、中嶋邦登君



クラス会だより

学43期 川端信司 教授 就任祝賀会開催のご報告

文責／尾崎誠重（学43期）

日本が史上最多、24個のメダルを獲得して熱狂した冬季五輪閉会式の日、われらが待望の同期第1号の川端教授就任祝賀会を、学43期27名の参加を得て京橋・ホテルモントレ ラ・スール大阪で開催しました。

当日は朝から3万4千人が参加した大阪マラソン2026の開催日にあたり、ホテル周辺は往路・復路ともともにそのコースとなっておりましたが、1週間前に同期同窓会LINEで情報共有していたため、周辺道路が軒並み通行止め・路上大混雑にもかかわらず、誰一人遅れることなく、昼12時に開会しました。

川端教授の学生時代からの悪友、川部先生の愛ある乾杯の音頭ののち、くじで縁のあった者6人ずつの円卓では久しぶりの再会に遠い？学生時代に思いを馳せました。

坂井昌弘先生の祝辞では、Google Gemini には『「切らずに治す」次世代のがん治療法であるBNCT(ホウ素中性子捕捉療法)の世界的権威として知られている』

との記載がある旨の報告があり、参会者の間で感嘆の声が上がりました(ただし、Geminiのサイトには『GeminiはAIであり、間違えることがあります』との注意書きもあります)。

続いて川端教授のご専門であるBNCTについてご講演をいただきました。同級生は皆、この分野の先端医学には門外漢ですが、嶋先生・宮本先生や結城先生のような良い細胞の中に身を隠す川部先生・竹安先生・井上先生のような(一見普通であるが実は)悪い細胞をどう選択的にやっつけるか、の原理を初心者にもわかりやすく、解説をいただきました(↑の先生方の名前は私の主観が入っているかもわかりません)。

先生の大学でのアットホームな講義の様子が目に浮かぶようで、今の学生を羨ましく思いました。川端教授は同期の誇りです。『世界的権威』として是非とも頑張ってください。

現在、同期同窓58名をもってLINEグループを作っておりますが、まだお声がけできていない先生も多くいらっしゃいます。まだグループに入っておられない先生方はぜひとも仁泉会本部を通してご連絡ください。

最後になりましたが、企画・立案・会場手配や当日の司会など、幹事の労を一手に取ってもらった啜生会脳神経外科病院 院長の池永透先生、同期懇親の大変良い機会を作ってください、ありがとうございました。



仁泉ひろば

jinsen-park

ヘボンかヘップバーンか

文責／佐々木進次郎（学8期）

従来、ローマ字の表記には日本語の五十音表に基づく「訓令式」(学校で習う)と英語風書き表す「ヘボン式」が用いられてきた。新制中学に入ったばかりの頃、卓球のラケットに「SINZIROU」と書いていたら、それを見た父が「SHINJIROだろう」と言ったのを思い出す。だが、2種の表記法が混在する実情から見て、父の言は必ずしも正しいとは思えなかった。しかし、母音を伸ばす際の符号、地名、人名及びパスポートを含め、実際の表記にはヘボン式の方が広く普及していたのである。このような事情から、昨年末「ヘボン式」を基本とするルールに改める旨の内閣告示が出されている。

さて「ヘボン式」を考案したヘボンとは、江戸時代末期に来日したアメリカ人の宣教師で医師でもある James Curtis Hepburn のことである。Audrey Hepburn (ローマの休日)と同様に、日本人が発音すれば「ヘボン」ではなく「ヘップバーン」になったはずである。ところが、当時の日本人には「ヘボン」と聞こえたらしく、また、ヘボン本人も自分は「ヘボン」だと書いたことから「ヘボン」が定着したようだ。つまり「ヘボン」は発音重視であり、「ヘップバーン」スペル重視ということになる。

p(無声音)とb(有声音)のようにペアをなす子音が連続する場合、一方の子音が脱落(リダクション)するというルールがあるらしい。Hepburn が「ヘボン」になったのはこのルールによるものであろう。

ついでに言うと、以前にある雑誌で「女優のHepburnはヘボン氏の一族」と書いてあったのを見て、てっきりAudreyのことだと思い込んでいたが、本当はKatharine Hepburn(旅情)のことらしい。どのような親戚関係かまでは書いてなかったと思う。

素人の僭越ながら、英語には発音をしない音があり、それには2つのパターンがある。

その1つはサイレントレター(黙字)が含まれるパターンである。pneumonia や pseudomonas の p がサイレント化してニューモニアやシュドモナスと発音されるのは、医学用語におけるサイレントレターとしてよく知られた例である。もう1つは音声変化により発音しないパターンであり、

先に述べた脱落(リダクション)のほか、連結(リンキング)、同化(アシミレーション)などがある。

ロサンゼルスでフェローをやっていた若い頃の話だが、髪が伸びるとトリートメントの床屋に通っていた。その主人(体型がスリム、広島弁が流暢なことからおそらく一世)は、ハムエッグ(ham and eggs)を「ハムネギス」、ベーコンエッグ(bacon and eggs)を「ベコネギス」と発音していたし、隣の魚屋では、カサゴ科の魚に「ラックカード」(rock cod)の名札がついていた。なるほど、と感心した次第。また、病院で使っていたビタミン k1 注射 aquaMEPHITON はアクアメフトンではなく、アクオメフイトンであった。そういえば、英語圏ではバスを降りるとき「揚げ豆腐」(I get off)と発音すればいいらしい。

昭和50年代初期に教室の H.K の両君と米国胸部外科学会に出席し、ついでにニューオーリンズの Ochsner Clinic (現 Ochsner Medical Center)へ見学に行ったことがある。空港からタクシーに乗り、運転手(黒人女性)に「オクスナークリニック」と行先を告げた。運転手は考え込んでいたらしく、暫くして「オー、オシュナー」(そう聞こえた)と叫んだのである。Ochsner のような簡単な単語の発音がなぜ通じないのか不思議であった。もっとも、目的の Clinic には無事に到着したので、文句の言える筋合いではなかったが。

Ochsner の「ch」には /ts/、/k/、/ʃ/3通りの発音があるが、この運転手のように /ʃ/ と発音するのはフランス語に由来するとされる。chef, champagne, charade などがその例である。そうすると、「この運転手は旧フランス植民地を含むフランス語圏からの移民か、あるいは、かつてはフランス領であったニューオーリンズには「ch」を /ʃ/ と発音する習慣が残っているのではないか」などと立案したのだが、下手の考えかも知れない。

ネイティブとの会話でスペル通りの発音をすると、通じないことがよくある。だからといって、Audrey Hepburn は「オードリーヘボン」と発音すべきだと言われるとちょっと引かれる。つまり、Audrey は別人のようになってしまう、「ヘボン」から元の Hepburn のスペルを想起することが困難になるからである。そこで、自身を「ヘボン」と書いたヘボン氏はともかく、一般に Hepburn を発音する場合は「ヘッパン」(オードリーヘッパン)あたりが妥当と思うのだが、これもまた無駄な考えだろうか。

真実の口



仁泉ひろば

jinsen-park

丸山栄勲先生(学45期 ラグビー部OB)に 人命救助の功績で感謝状贈呈！

文責／救急医学教室 教授 高須 朗
(学 35 期 ラグビー部OB)

学45期の丸山栄勲先生（ラグビー部OB）に高槻市消防長の田中英二様より「昨年の9月にJR摂津富田駅で発生した救急事案に際して冷静かつ迅速な救命活動を行い尊い人命を救った功績」に対して、本年の2月18日に感謝状が贈られました。丸山先生の通勤途中にJR線の車内で急に発生した心肺停止（CPA）傷病者に対して、的確な心肺蘇生（CPR）処置、すなわち精度の高い胸骨圧迫と自動対外式除細動器（AED）を用いた除細動を救急隊の到着まで懸命に継続されました。傷病者はその後到着した高槻市特別救急隊（ドクターカー）にて気管挿管やアドレナリン投与など二次救命処置が行われ、そのまま本学の救命救急センターに搬送され、即座に高度な救命処置である経皮的心肺補助装置（PCPS）が導入されました。その後循環器内科で心経皮的冠動脈インターベンション（PCI）が行われ、大きな後遺症なく退院されました。

見事に「救命の連鎖」が繋がった事例です。しかし一番の功績は丸山先生が行ったバイスタンダー（傍の発見者）CPRです。CPA患者の予後は「救命の連鎖」の出足のバイスタンダー CPR の可否が鍵です。もし、丸山先生がその場に居合わせず、的確な CPR がなされなかったら、その転帰は全く違ったものになったかもしれません。本当にその功績は大きいと思います。

小生ですが、この事案に限りたまたまドクターカーで出動して現場活動を行いました。「一般市民による質の高いCPRができていた」と先着隊の救命士の方から報告を受けたのですが、まさかご本人がラグビー部後輩の丸山先生だったことを感謝状贈呈の機会に初めて知りました。これには同じクラブの同窓の「繋がり」があり、今更ながら人生で起こる色々な不思議なご縁を感じています。

仁泉ひろば

jinsen-park

プランクトンの話

文責／岡野 准（学 21 期）

プランクトンという言葉は、ドイツの海洋生物学者ヴィクトル・ヘンゼンにより、ギリシャ語の放浪者を意味する言葉から作られた造語で「水中にいるのに泳げないか遊泳力が乏しく水流に負けて漂っている水生生物(大きさには関係なく)」のことを意味しており、水の中での生活型を示す言葉としてニューストン(Neuston)、ネクトン(Nekton)、ベントス(Benthos)と共に作られた言葉です。ニューストンは「アメンボ、水すまし」の様な水面で生活する水表生物を指しております。本邦では今挙げた2種のみで両者とも翅が有り空を飛べる肉食昆虫で、水の表面張力で水面に留まっている為不純物の少ない淡水にのみしかいません。ネクトンは水流をもとめせずに水中を遊泳している魚のような遊泳生物を指しています。ベントスは水底に定着したり水底にもぐったり水底をはい回ったり泳いでいる（磯巾着、海星、チンアナゴ、鱧、蛸、蟹、エイ）等の底生生物を意味しています。ただこれらの言葉は便宜的な言葉なので中間的な生物や時間或いは成長の時期等で変化することも有ります。

プランクトンは動物性プランクトンと植物性プランクトンに分けられていますが、あまり厳密な意味はなく動けなくて光合成をするので植物、動いて他のプランクトンを食べて生活するので動物と分けているだけで全て原生生物に分類されています。ですから「みたいな」の意味で「動物性プランクトン、植物性プランクトン」と称するべきと推奨している識者も有ります。

植物性プランクトンの大半は単細胞の藻類で、渦鞭毛藻・シアノバクテリア、円石藻等が挙げられます。動物性プランクトンは水生生物の幼生・幼体やカイアシ類、クラゲ、アミ・オキアミ等多岐の生物に及んでいます。細菌やウイルスもプランクトン生活をしており水生生物の病気を起こすことも有りますが、他の生物に食べられてもいます。

プランクトン食の生物は以外に多くシロナガスクジラを含むひげ鯨類、最大の魚ジンベエザメ、マンタや魷、ヘラブナ等ですが、肉食の魚でも小魚やアミ・オキアミ

は食べています。人間もアミ類や縮緬雑魚・クラゲなどのプランクトンを食べています。

プランクトンは様々な水生生物の食餌でもあり、また光合成する植物性プランクトンと動物性プランクトンにも光合成をおこなうものもあり、数の多さから光合成による炭疽の固定と酸素の供給等の地球環境に重要な役割を果たしています。

最大の動物性プランクトンはエチゼンクラゲで普通直径が1m以下の物が多いのですが最大で直径2mくらいにまでなります。クシクラゲ類の大半は全長10cm前後ですがオビクラゲは長いものでは1.5mくらいになります。

仁泉ひろば

jinsen-park

掌編小説 「すばらしき外勤世界」

文責／福間勇太郎（学 72 期）

西暦2025年8月のある平日の午後、日本国大阪府の北摂地域にあるとある私立中学校で役員会議が開催されていました。中高一貫校であるこの中学校は今現在ちょうど夏休み期間中で、同校の卒業生でもある校長先生は複数人いる教頭先生や法人の理事といった学校の要職にある人々を会議室に集めていました。

「それでは定例となります本校の役員会議を始めます。本日の議題は……」

「校長先生、まだPTA会長さんがお見えになっていないようですが」

この中高の役員会議には保護者の意見を反映させる目的でPTA会長もしくはPTA副会長のどちらかが必ず出席する決まりになっていて、出席予定だったPTA会長がまだ到着していないことを一番若い教頭先生が指摘しました。

「ああ、会長さんは急用で遅れると事前に連絡がありました。いつ来られるか分からないとおっしゃっていたので先に会議を始めましょう。会長さんはお医者さんでもありますしね」

この中学校のPTA会長を務めている男性保護者はこの学校法人が運営する医科大学の附属病院に勤務す

る内科医であり、医師が言う急用であるという旨を端的に話した校長先生に他の出席者も頷いて手元の資料に目を通しました。

「ここ最近は本校にも保護者からのある種理不尽な要求が増えておりまして、教員の授業に受験塾の講師と同じ水準の受験対策を求めるような声もあります。気持ちちは分かりますし本校も学校の授業だけで受験対策を完結させられるのが望ましいというスタンスではありますが、学校の授業の本来的な意義は受験対策ではありませんただでさえ多忙な教員に万全の受験対策を求めるのも酷だと思えます。皆さんはこの問題についてどう思われますか」

「大変遅れてしまい申し訳ございません、今日はよろしくお願いします」

校長先生が出席者に質問を投げかけたのと時を同じくして、ポロシャツ姿のPTA会長が汗だくで会議室に入ってきました。

「これはこれは会長さん、まだ始まったばかりですのでどうぞご安心ください」

「本当に失礼しました、役員会議のために早く仕事を上がるつもりだったのですが外勤先の病院で患者の急変がありまして。どうにかこの時間に来られました」

「それは大変でしたね。ところで『外勤』というのは何なのですか？」

医科大学の附属中高といっても校長先生は直接の知り合いに医師がほとんどおらず、PTA会長が口にした「外勤（がいきん）」という言葉に純粋な興味を持って質問しました。

「外勤というのは主として大学病院の勤務医が行う常勤先でない病院でのアルバイトで、具体的に言うと日本の大学病院の勤務医のほとんどは週に1回や2回関連病院で非常勤医師として働いています。大学病院の医師が外勤をすることで関連病院は最新の医学の知見を持った医師の力を借りることができ、関連病院から常勤先よりも多くの給与が支払われることで大学病院は勤務医に払う給与を削減できるので病院にとってはウィン・ウィンの仕組みです。そのしわ寄せが私のような勤務医に全てのしかかるのですけどね」

「なるほど、それは面白い仕組みですね。本当にお疲れ様です」

「校長先生、会長さんのお話は興味深いですですがそろそろ会議を再開してもよろしいでしょうか」

「すみません教頭先生。外勤、外勤……そうだ、これは我が校の運営改善に使えるぞ！」

PTA会長から聞いた医師の「外勤」の話に、校長先生はあることをひらめきました。

その10年後。ちょうど10年前に始まった当時の校長先生の主導による改革で、この中高のあり方は大きく変化していました。

「うわーん、せっかく誕生日にお父さんに買ってもらったかわいい眼鏡だったのにー」

「本当にごめん！ でも俺だつてわざと踏んだ訳じゃないんだからそんなに泣くなよ！ 絶対弁償するけどまずは先生に話を聞いてもらおう！」

ある日の放課後。掃除中に中学1年生の女子生徒が眼鏡をハンカチで拭こうとして床に落としてしまい、いけないことで男友達とほうきで黒板消しホッケーをして遊んでいた同級生の男子生徒は教室で走っていた勢いで女子生徒の眼鏡を上履きで踏んで割ってしまったのでした。男子生徒は普段からの学校の指導に従い、生徒間のトラブルをまずは担任の先生に相談しようと放課後の職員室を訪れました。

「先生、実は相談させてほしいことがあるんですけど……」

「ああん何だよお前、俺今から外勤だから話聞いている時間ないんだよ。悪いけど明日でいいか？」

「はいっ!?!」

普段は生徒の頼れる兄貴分的存在ですが口調が荒いのが玉に瑕と言われる若い男性の担任教師は既に荷物をまとめて職員室を出ようとしており、生徒の相談を聞く気がなさそうな担任に男子生徒は驚きの声を上げました。

「で、でも実はさっきクラスメイトとトラブルがあって。大したことじゃないんですけど」

「じゃあ明日でいいだろ。俺は今から受験塾に行ってお前らと違って高校受験がある中学生に受験勉強を教えるの。学校の給料が安いからそうしないと食っていけないんだよ」

「先生それでも担任ですか!?!」

「だからこういう時のためにチーム教育っていう文化があるんだろ。お前の話は他の先生がちゃんと聞かから俺はもう帰る！ 大体お前らだって週に1回塾の先生が外勤で出張講義してくれて助かってるだろ？ これこそウィン・ウィンってやつだよ！」

「ええ……」

「うわーん、先生が私を無視して帰っちゃうよー」

「ちょっと先生、教え子にそんな言い方はないでしょう!?!」

ごめんなさいね君たち、私が代わりに話を聞くからね」担任の態度にドン引きする男子生徒と泣きわめく女子生徒に職員室にいた別のクラスの担任の女性の先生は慌てて駆け寄り、生徒同士のトラブルは生徒たち本人の気持ちとはもかくとして「チーム教育」体制のおかげで問題なく解決されたのでした。

その100年後……

「我々は機械生命体ケンギョーン！ この惑星の代表者と話がしたい!!」

東京都千代田区霞が関に突如襲来した巨大な飛行円盤の群れに地球人はパニックに陥っていましたが、これといって市街地を攻撃したりはせず地球人の代表者との対話を要求してきた地球外生命体（いわゆる宇宙人）に対して日本政府はとりあえず総理大臣の官邸を惑星間対話の会場として日本政府の代表者を派遣しました。

「この度はようこそ地球においでくださいました。私は日本政府の代表として参りました国民民主党党首の真滝隆一郎と申します。本日はどうぞよろしくお願ひ申し上げます」

「これはご丁寧に。と言いたい所だがこの惑星の日本という国の政権与党は自由民主党ではなかったのか？ なぜ野党の党首である貴様が我々との対話に派遣されたのだ？」

「ああ、宇宙人さんは外勤という地球の制度をご存知ないのですね。ここ日本でも100年前は政府の代表者である内閣総理大臣に国家から多額の報酬が支払われていましたが、内閣総理大臣は本来国家ではなく全国民の代表者であるべきなので報酬を無償とする代わりに外勤で生計を立てる仕組みに切り替わったのですよ。今現在の日本では内閣総理大臣は毎週月曜と水曜と金曜しか内閣総理大臣として勤務しておらず、その他の曜日は民間企業の顧問として働いて民間企業から給与を得ています。内閣総理大臣の外勤日は野党の代表者が業務を代行することになっておりまして、これによりいざ政権交代が起こったとしても内閣の機能は麻痺せずに済む訳です。どうです、素晴らしい国家の運営体制でしょう？」

「わ、我々は地球人の高度な知性を侮っていたようです……」

高度な知性に基づく仕組みかどうか微妙ですが、とにかくにもこのすばらしき外勤世界は宇宙人の脅威から無事に守られたのでした。

(おしまい)

まんが第78回

古い歌付き

芸能リポーター（学31期）

古い歌8

飲みすぎたのは
あなたのせいよ

男と女のラブゲーム
日野美歌・葵司郎



空に向かっ
あげた手に
若さが いっぱい
とんでいた

学園広場
舟木一夫



きっかけぐらいは
こっけつくて
あげる

少女A
中森明葉



あなたに抱かれ
私は
蝶になる

白い蝶のサンバ
森山加代子



真夜中に
呼び出すなん？
あなたって
どういうつもり？

秘密の花園
松田聖子



走り出した
船はただ
あなたへと
続いている

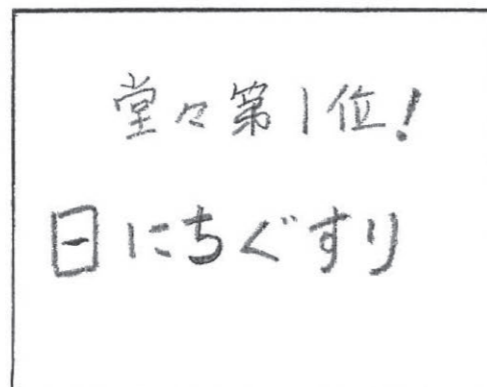
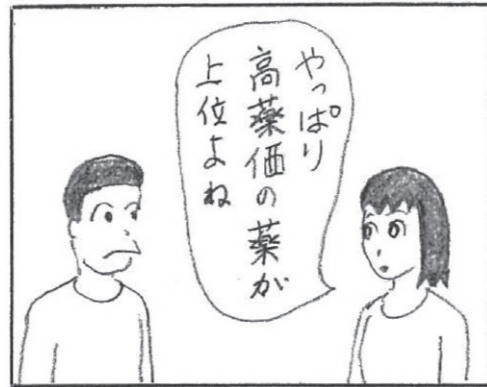
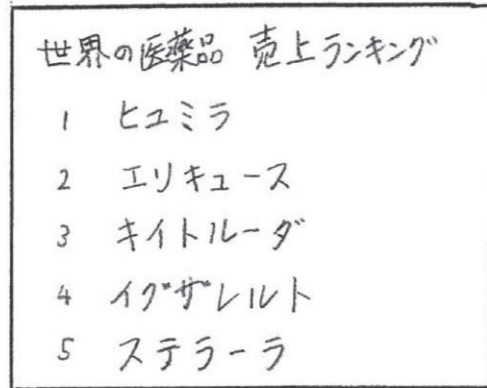
チェリーブロッサム
松田聖子



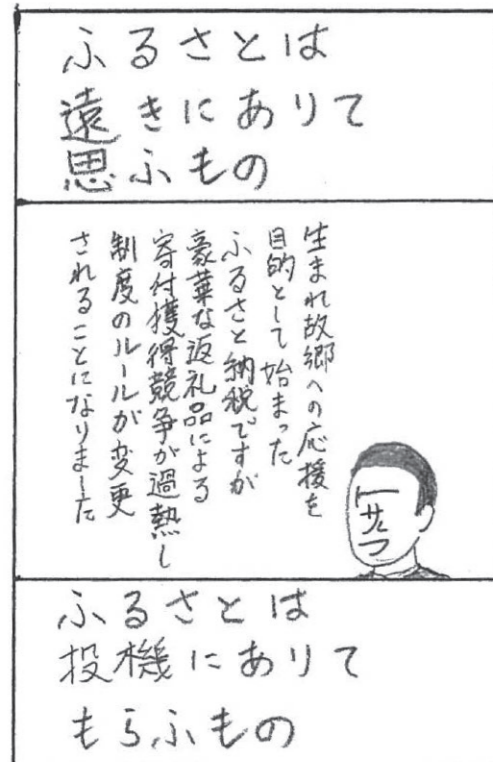
剂形



陰のお陰



ふるさと納税



生まれ故郷への応援も目的として始まったふるさと納税ですが豪華な返礼品による寄付獲得競争が過熱し制度のルールが変更されることになりました

開業しました!

鈴木智子先生 (学50期)

名称 医療法人かんべ診療所
淀屋橋マイクリニック
住所 〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町3丁目3-6 平野町Kanビル
電話 06-6224-0968
FAX 06-6224-0969
診療科目 内科・糖尿病内科
診療時間 月～金 10:00～13:00
15:00～18:00
休診日 土曜日・日曜日・祝祭日
ホームページ <https://kanbe-myclinic.com/>
E-Mail info@kanbe-myclinic.com
仁泉会の先生方に一言

医師として過ごす中で諸先輩方の築かれた本学卒業生への信頼の強さを実感し、感謝の思いでいっぱいです。皆さまの名に連なることに恥じぬよう、精進いたします。

開業しました!

村井克行先生 (学51期)

名称 阪南むらい眼科
住所 〒599-0202 大阪府阪南市下出164番地4
電話 072-468-8722
FAX 072-468-8722
診療科目 眼科
診療時間 月～金 9:30～12:30
土 9:20～13:00
月・火・木・金 14:30～17:45
休診日 水曜午後、土曜午後、日曜・祝日

開業しました!

中野友義先生 (学54期)

名称 医療法人SKY
セブンメンタルクリニック天六院
住所 〒531-0041 大阪府大阪市北区天神橋7丁目6-3 Osaka Metro 天六ビル3階
電話 06-6355-6777
FAX 06-6355-6778
診療科目 精神科、心療内科
診療時間 午前 9:30～13:00
午後 15:00～18:00
(水曜は 16:30～20:00)
休診日 日曜日、木曜日
ホームページ <https://7mental.com/>
仁泉会の先生方に一言
よろしくお願ひします。

開業しました!

井手健太郎先生 (学59期)

名称 医療法人SKY
セブンメンタルクリニック
住所 〒531-0074 大阪府大阪市北区本庄東1丁目3-3 リカバリーセンター
電話 06-6372-6777
FAX 06-6372-6778
診療科目 精神科、心療内科
児童精神科、老年精神科
診療時間 午前 9:30～13:00
午後 15:00～18:00
(水曜のみ 16:30～20:00)
休診日 日曜日、月曜日、祝日
ホームページ <https://7mental.com/>
仁泉会の先生方に一言
精神科デイケアを併設しています。

開業しました!

在田貴裕先生 (学60期)

名称 ありた皮膚科クリニック
 住所 〒617-0826
 京都府長岡京市開田2-1-1
 るりせれっとNAGAOKAKYO 2F
 電話 075-950-2311
 FAX 075-950-2312
 診療科目 一般皮膚科、小児皮膚科、
 アレルギー科、美容皮膚科
 診療時間 月～水、金～土 9:30～12:30
 月～水、金 16:30～18:30
 (火曜は完全予約制)
 休診日 木曜、土曜午後、日曜・祝日
 ホームページ <https://arita-skinclinic.com/>

- 令和7年度仁泉会理事長賞の件
1名選出 可決承認
- 令和8年度学会助成申請の件
7件 可決承認
- 叙勲お祝いの件
継続審議
- 令和8年度総会運営の件
可決承認
- 100周年記念事業の件
継続審議
- 令和8年度事業計画(案)の件
継続審議
- 次回会議の件
令和8年3月21日(土)母校にて開催
可決承認

令和7年度第6回理事会

日時: 令和8年3月21日(土)
 午後3時～午後4時15分
 場所: 母校新講義実習棟4階 特別応接会議室
 出席者: 理事16名 監事3名 参与1名

【報告事項】

- 物故者9名
東住吉・平野支部総会
奈良県支部総会
大阪府連新年理事会
岡山県支部総会
泉大津・岸和田合同支部会
- 卒業式 109名
- 第120回医師国家試験

【協議事項】

- 議事録署名者の件
理事長及び出席監事 可決承認
- 令和8年度事業計画(案)の件
一部修正 可決承認
- 令和8年度学術集会助成申請の件
3件追加申請 可決承認
- 令和8年度収支予算(案)の件
可決承認
- 令和8年度総会運営の件
可決承認

- 100周年記念事業の件
継続審議
- 第33回全国私立医科大学同窓会連絡会
「西部会」出席の件
可決承認

- 第34回全国私立医科大学同窓会連絡会
「西部会」運営の件
令和9年当番校 可決承認
- 次回理事会の件
令和8年5月16日(土)母校にて
可決承認

支部長交代のお知らせ

<大正区支部>

前支部長 石村俊信 先生 (学22期)
 ↓
 新支部長 一ノ名正 先生 (学31期)

<東淀川支部>

前支部長 光井英昭 先生 (学18期)
 ↓
 新支部長 赤井啓二 先生 (学30期)

<堺支部>

前支部長 村木宏要 先生 (学27期)
 ↓
 新支部長 吉岡貞政 先生 (学30期)

会員訃報

次の会員が亡くられました。
 慎んでご冥福をお祈り致します。

事務局編集係

学部10期 土井志郎先生

令和7年12月22日、肺炎のためご逝去(90歳)。
 昭和36年卒。
 母校卒業後、大阪医科大学外科学教室に入局。その後、枚方市にて土井外科胃腸内科をご開業され、地域医療に貢献されました。
 ご遺族 長男 仁志様

学部11期 檜垣勝先生

令和7年6月20日、敗血症性ショックにてご逝去(89歳)。
 昭和37年卒。
 母校卒業後、紀南総合病院にてご勤務され、昭和43年に大阪医科大学第一内科に入局。その後、昭和45年に京都府長岡京市にて檜垣医院をご開業されました。診療の傍らサントリービール京都工場の産業医をお務めになりました。昭和59年京都府医師会理事に就任。

その後も乙訓医師会会長、日本プライマリー・ケア学会第9回近畿地方会会長、平成9年大阪医科大学京都仁泉会会長、同仁泉会常任理事、平成18年京都府医師健康保険組合理事長、全国医師国民健康保険組合連合会第49回全体協議会議長を歴任され、ご活躍されました。その功績が認められ、平成20年厚生労働大臣表彰を受賞されました。
 ご遺族 妻 あけみ様

学部14期 奥沢康正先生

令和7年12月22日、肺炎のためご逝去(86歳)。
 昭和40年卒。
 母校卒業後、京都府立医科大学眼科学教室に入局。その後、京都市立病院でのご勤務を経て、昭和45年に大阪医科大学眼科学教室に入局。昭和47年京都市西京区にて奥沢眼科医院をご開業され、昭和51年には京都市伏見区に分院をご開業されました。診療の傍ら京都市囁託医、京都市・京都府眼科学学校医、京都府立医科大学客員講師、日本医師会認定健康スポーツ医をお務めになりました。平成12年京都府眼科学学校医会副会長、平成14年京都府眼科医会議長をはじめ多数団体にて理事、委員を歴任されました。長年にわたるご功績が認められ、平成20年京都市教育功労

本部だより

理事会開催報告

令和7年度第5回理事会

日時: 令和8年1月31日(土)
 午後3時～午後4時
 場所: 母校新講義実習棟4階 特別応接会議室
 出席者: 理事15名 監事2名 参与1名

【報告事項】

- 物故者15名
- 支部会開催報告
茨木支部総会
淀川支部総会
阿倍野支部総会
三重県支部総会
東大阪支部総会
神戸支部新年会

【協議事項】

- 議事録署名者の件
理事長及び出席監事 可決承認

者表彰、平成22年には文部科学大臣表彰を受賞されました。

ご遺族 妻 悦子様

学部22期 窪田隆裕先生

令和8年1月21日、ご逝去（76歳）。

昭和48年卒。

母校卒業後、大阪医科大学生理学教室に入局され、その後東和会グループサンガピア館にてご勤務されておられました。

ご遺族 妻 徳美様

学部23期 田代博先生

令和7年12月11日、肺炎のためご逝去（78歳）。

昭和49年卒。

母校卒業後、田代医院をご開業され、診療の傍ら医師会活動に尽力されるとともに、聾学校、幼稚園の校医を長らくお務めになり、地域医療の発展に貢献されました。

また、産経新聞社主催の日本医師会赤ひげ大賞を受賞されました。

ご遺族 妻 美代子様

学部26期 阿部和夫先生

令和7年12月29日、膵臓癌のためご逝去（73歳）。

昭和52年卒。

母校卒業後、平成2年に三田市にて阿部内科医院をご開業され、令和7年11月に閉院されるまで、地域医療を支えてこられました。

ご遺族 妻 みち子様

特別期 岡悠子先生

令和7年8月14日、ご逝去（78歳）。

昭和44年3月大阪大学薬学部を卒業。昭和45年4月大阪医科大学薬理学教室に入局され、医療の発展にご尽力されました。

ご遺族 夫 眞様

編集部より

会費納入のお願い

年会費

令和7年度 10,000円

令和6年度 10,000円

令和5年度 10,000円

納入のご協力をよろしくお願い致します。

事務局 会計係

原稿募集のお知らせ

仁泉会ニュースの原稿を募集しております。日々の診療で感じられた事、研究報告、趣味のお話やクラス会や支部会のご報告なんでも結構です。ご投稿お待ちしております。

●57巻3号（令和8年7月1日発行）
締切 令和8年5月末日

●送付先：仁泉会事務局 〒569-8686 高槻市大学町2-7
E-mail：jimu@jinsenkai.net FAX:072-682-6636

編集後記

うん10年前に大学卒業後、研修医として働いていた京大附属病院に、患者として行くことになりました。受診の予約はいれてもらっていたので初診のカウンターにいてマイナンバーカードを出し手続きをしました。そのあとはスマホにアプリをいれてアプリに表示される指示に従って行動します。診察の順番になるとスマホに診察室〇番にお入りください、と表示されます。診察後はあらかじめカード番号を入力しておけば会計を待たなくてもすぐ帰れま

す。数日後カード決済されます。処方箋は病院内あるファックスから調剤薬局に送信し、帰れます。中小の病院でもDI化が図られていて便利になっています。スマホを持っていなかったり使いこなせない高齢者にとっては高いハードルだと感じました。電子カルテが導入されようやく慣れてきましたが、便利な反面融通が利かない不便さを感じます。昭和はどんどん遠くなっていきます。

(HM)

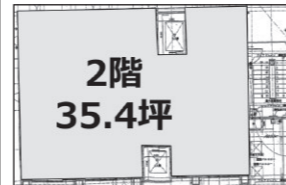
テナント募集 消化器内科・内科・心療内科の承継物件

場所：大阪市浪速区難波中 2-3-3

募集科目：皮膚科・婦人科を除く全科目

※推奨科目：消化器内科・内科・心療内科

募集区画：2階 35.4坪



- 角地に面しており、視認性良好です
●乗降客数の多いなんば駅からのアクセスが抜群です
●皮膚科・婦人科盛業中の医療モールです



5F：婦人科クリニック

4F：皮膚科クリニック

3F：美容エステ

2F：募集区画

1F：日本調剤なんば薬局

★各階盛業中

★南海電鉄「なんば」駅

徒歩2分

■エレベーター設置

■内視鏡、腹部・心臓エコー、X線設備等は譲渡対象です。（金額等応相談）

○昼夜通して人通りの多いエリアです。周辺はショッピングモールが多く立地しており、視認性抜群です。

- ・賃貸借契約にあたっては、調整・打ち合わせが必要になります。
・建物外観や仕様・契約面積等は変更になる可能性があります。

お問い合わせ先

仁泉会事務局：TEL 072-682-6166

FAX 072-682-6636

e-mail jimu@jinsenkai.net

医療テナント募集！ 整形外科・皮膚科、調剤薬局2025年秋に開業物件 [神戸市須磨区板宿駅 医療ビル(いたやどメディカルモール)]

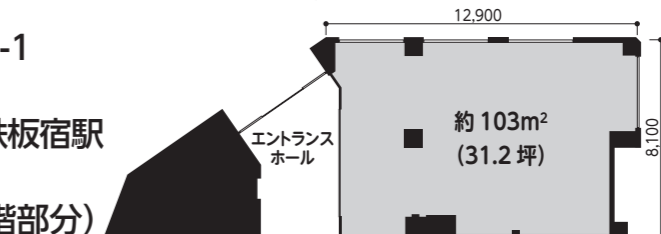
所在地：神戸市須磨区前池町 3-3-1

森岡セントラルビル

最寄駅：山陽電鉄、神戸市営地下鉄板宿駅

徒歩2～3分

構造：鉄筋コンクリート造(1階部分)



立地

- 幹線道路沿い角地ビル
●整形外科・皮膚科メディカルモール内に開業済み
●視認性良好
●大型ショッピングモールが通り向かいにあり、商店街もあります。

賃貸条件

面積：31.2坪

賃料：320,000円/月(税別)

共益費管理費：50,000円/月(税別)

保証金：2か月

礼金・手数料等：礼金3か月、仲介手数料1か月、

家賃保証会社負担金1か月 計5か月

お問い合わせ先

(株)ファルト 木下

TEL 078-798-5414 / FAX 078-798-5414

Mail：kinoshita@falt-k.com

神戸市板宿エリアの地域医療に共に貢献していきましょう！

大阪医科薬科大学女性医師の会 第5回総会および医療講演会のご案内(第2報)

拝啓

春暖の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より温かいご支援とご交流を賜り、心より御礼申し上げます。

このたび、「女性医師の会」第5回総会および医療講演会を下記の通り開催させていただきます。参加登録の受付を開始しましたので、皆様のご登録をお待ちしております。

本会は、「思いやりと情熱を持った女性医師を目指して～学年、世代、専門性を越えた生涯変わらない同窓生のつながり～」をテーマに、年に1度、世代を超えて語り合い、学び合い、刺激を受ける貴重なひとときを共有しております。おいしいお食事を囲みながら、懐かしい顔ぶれや新たな出会いに触れ、「年代や専門性を越えて同窓で集まる楽しさ」を実感していただける場となっております。

百聞は一見に如かず— ぜひ一度、ご参加ください。同窓会を兼ねてご参加くださる学年もあり、クラブや職場の先輩後輩、同級生、同僚などお誘い合わせのうえ、お気軽にご参加いただければ幸いです。

記

日時：令和8年6月13日(土)午後4時 受付開始
午後4時30分～5時45分 総会および医療講演会(男性可能)、
午後6時～8時 懇親会
医療講演会「高齢者の難聴と認知機能低下～関連メカニズムと対策～」
愛知医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座教授(特任)内田育恵先生(学39期)

場所：ホテルグランヴィア大阪
会費：15,000円(※)、2,000円(講演会のみ)

※令和7、8年に大阪医科薬科大学ご卒業の先生は5,000円

参加登録：Google Form URL: <https://forms.gle/wlCdyT99UMCbFpRh6> 2次元コード



参加登録

【ホームページのご案内とメール登録】

女性医師の会では、近況報告やイベント情報などを共有できるホームページを運営しています。

会合のご案内等を送らせていただきますのでメールアドレスをご登録下さい。

数年以内にメールアドレスをご変更された方もご連絡ください。届かない事例が増えています。

宛先：omc-women@jinsenkai.net (仁会事務局内、女性医師の会)

件名：メールアドレス登録(変更)

登録内容：①氏名(旧姓)、②卒業年度もしくは学期、③メールアドレス



ホームページ

大阪医薬大 女性医師の会 検索

ご支援のお願い

至誠仁術を備える人材の育成をめざして

数十年先の未来医療へ

大阪医科大学創立100周年記念事業

大阪医科薬科大学病院 新本館建築プロジェクト

本法人では、2027年に迎える創立100周年に向け「大学病院新本館の建築」と「学生支援体制の充実」を目的に、2018年10月「大阪医科大学創立100周年記念事業募金」を設立しました。設立以来、これまでに患者さんやそのご家族をはじめ、卒業生、保護者の皆様など多くの方々より多大なるご協力を賜りました。これも皆様の深いご理解の賜物と、厚く御礼申し上げます。引き続き、ご支援並びにご協力を賜りますようお願い申し上げます。



募金目的 大学病院新本館の建築、学生支援体制の充実、奨学金制度の拡充
募金目標 10億円
募集期間 ～2027年3月
募集対象 趣旨にご賛同いただける個人・法人の皆様
募金単位 個人：1口1万円、法人・団体：1口10万円
1口未満のご寄付につきましても有難くお受けいたします。

特典 大阪医科薬科大学健康科学クリニック人間ドック(基本コース1名1回分)無料受診券を進呈します。
個人10万円以上、法人・団体50万円以上
申込方法 学校法人大阪医科薬科大学寄付WEBサイトよりお申し込みいただくか、募金推進本部迄ご連絡ください。申し込み先▶



大阪医科薬科大学基金

大阪医科薬科大学基金は、皆さまからのご寄付を積み立てて資金運用を行い、さらに増やしていく仕組みです。基金の拡充は、長期にわたる「教育・研究活動」や「良質な医療の提供」の強化に繋がります。

募集要項

募金単位 個人：1口1万円 法人：1口10万円
申込方法 学校法人大阪医科薬科大学寄付WEBサイトよりお申し込みいただくか、募金推進本部迄ご連絡ください。

【お問い合わせ先】募金推進本部 ☎072-684-7243

税制上の優遇措置

学校法人大阪医科薬科大学は特定公益増進法人です。大阪医科薬科大学に対するご寄付は所得税・法人税・相続税の税制上の優遇措置を受けることができます。また一部の自治体では、個人住民税の税額控除の対象となります。

2025年4月 START 大阪医科薬科大学 × 高槻市ふるさと納税

大阪府高槻市には、ふるさと納税制度により高槻市に所在する大学を支援する制度があり、この制度を通じて、大阪医科薬科大学を指定したご支援をいただくことが可能です。



高槻市ふるさと納税がバメントクラウドファンディングサイトよりお申し込みください。
※ご寄付に伴う高槻市からの返礼品はございません。
※高槻市在住の方でもご寄付いただくことが可能です。

